

記者配布資料

平成 27 年(2015 年)9 月 14 日

所属名	所属長名	部局長・担当者名	連絡先
山口県立大学	学 長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	国際文化学部長 みずたに ゆ み こ 水谷 由美子	083-928-3423
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏		

1 件 名

「秋の収穫祭&シンポジウム 2015」の開催について

2 趣 旨

近年、農業の分野では山ガールならぬ「農ガール」といった言葉が生まれるなど、若者世代を中心にライフスタイルとしての農業が注目を浴びています。

本学企画デザイン研究室は、若者に地域に対する関心を持ってもらい、農業従事の楽しさを知ってもらうため、自らブランド米を開発されている安倍昭恵内閣総理大臣夫人とともに、農業者のワーキングスタイルに応えるようなファッションの研究開発に取り組んできました。

秋の収穫祭を実施するとともにシンポジウムを通じて、地域ブランディングにも貢献する農業の未来についての課題を地域の人々と共有し、新たな可能性を探っていきます。

3 日時・場所等

(1) 日 時

平成 27 年 9 月 23 日 (祝・水) 13:00 開場/13:30 開演

(2) 会 場

ラポールゆや 大ホール (長門市油谷新別名 833/TEL:0837-33-0051)

(3) 内 容

■ごあいさつ

江里 健輔 (山口県立大学理事長)

■鼓波会による和太鼓披露

■油谷×山口県立大学企画デザイン研究室によるプレゼンテーション

I ふるきよき時代の油谷

II アグリアート・フェスティバル 2015 農ガールコレクション&モンペッコ

■シンポジウム

「日本一美しい油谷の棚田創生と若者による農業の未来 Vol. II」

パネラー：安倍 昭恵 (安倍晋三内閣総理大臣夫人)

大西 倉雄 (長門市長)

三村 建治 (東後畑自治会長)

松浦 奈津子 (一般社団法人おんなたちの古民家代表) ※ビデオ参加

モデレータ：水谷 由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

4 その他

入場無料・申込不要

5 問合せ先

■東後畑自治会

TEL : 0837-32-2059 担当 : 三村

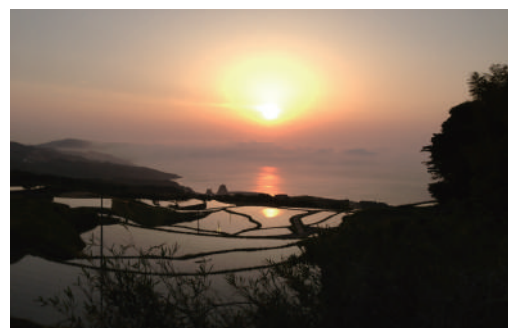
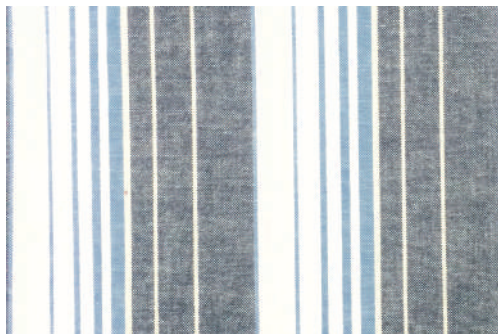
■山口県立大学国際文化学部事務室

TEL : 083-928-3423

メール : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

担当 : 水谷 由美子





秋の収穫祭 & シンポジウム 2015

2015年 9月 23日 (祝・水)

開場 13:00 開演 13:30 会場 ラポールゆや 大ホール

■ごあいさつ

江里 健輔 (山口県立大学理事長)

■鼓波会による和太鼓披露

■油谷 × 山口県立大学企画デザイン研究室によるプレゼンテーション

■シンポジウム

「日本一美しい油谷の棚田創生と若者による農業の未来 Vol. II」

パネラー：安倍昭恵 (安倍晋三内閣総理大臣夫人)

大西倉雄 (長門市長)

三村建治 (東後畑自治会長)

松浦奈津子 (一般社団法人おんなたちの古民家代表) ※ビデオ参加

モデレーター：水谷由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

入場
無料
申込不要

企画・運営：東後畑自治会 / 山口県立大学企画デザイン研究室学生

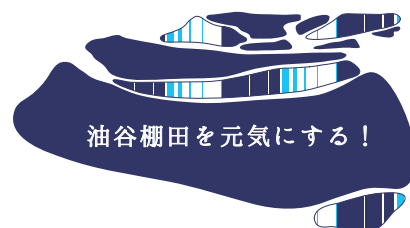
主催：宇津賀地区まちづくり協議会 / 山口県立大学企画デザイン研究室

共催：長門市

協力：東後畑自治会 / 東後畑営農組合 / 東後畑食育グループ / 山口県立大学

アグリアート・フェスティバル実行委員会 2015

一般社団法人おんなたちの古民家



秋の収穫祭 & シンポジウム 2015 プログラム

13:00 開場 13:30 開演 - 15:30 終演 〈ロビーにてモンペッコ展示 & 販売〉

■ ごあいさつ

江里 健輔（山口県立大学理事長）

■ 鼓波会による和太鼓披露

・ パフォーマーのプロフィール

和太鼓 鼓波会

平成4年9月に結成した和太鼓「鼓波会」。和太鼓集団「舞太鼓あすか組」の飛鳥大五郎氏に指導を受け、翌年5月に初演奏を行う。以来、山口きらら博などに出演、定期演奏会などさまざまな演奏活動を行っている。これまでの「歩み」と伝統を胸に、技術力・表現力を磨き続け、観客と奏者が感動を共有できるステージを作り上げるべく活動を続けている。



■ 油谷 × 山口県立大学企画デザイン研究室によるプレゼンテーション

I ふるきよき時代の油谷

II アグリアート・フェスティバル 2015 農ガールコレクション&モンペッコ

■ シンポジウム

「日本一美しい油谷の棚田創生と若者による農業の未来 Vol. II」

・ パネラー



安倍昭恵（安倍晋三内閣総理大臣夫人）

油谷の美しい棚田と海の風景を眺めながら、自然の恵みである米を収穫していると、ほんとうの豊かさを感じます。都会にはない地方の素晴らしさを、より多くの人に知っていただきたい。そして、自分たちがこの地方の未来を創っていくのだと立ち上がる若者が、より多く出てきてほしい。それが、日本そして地球の未来を支えていくのだと考えています。



大西倉雄（長門市長）

長門市では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に先駆けて、「ながと成長戦略推進事業」を実施し、油谷の棚田を中心として、安心・安全な食づくりを目指し自然栽培米の供給基地をつくっていかようとしています。こうした取組により、農家所得の向上と、新規就農者を増やすことに繋げていきます。



三村建治（東後畑自治会長）

東後畑の棚田では、「奇跡のリンゴ」で有名な木村秋則氏などのご指導により、無農薬、無肥料で自然栽培米を作っています。三年間耕作放棄地だったため、残留農薬がほとんどなく、また他の圃場からも離れているため他地域からの農薬の影響も受けにくいという、棚田の強みを、作物によりアピールしたいと思います。



松浦奈津子（一般社団法人おんなたちの古民家代表）

歴史的価値のある古民家再生から始まった私たちのstory。阿東地域を中心とした米のブランディングやその6次産業商品の販売などを手掛ける中、他地域との交流で長門ゆず吉とのコラボ商品の開発も始まりました。現在、日本の首都圏の有名百貨店との取り引きも始まり、販路を拡大中です。

※ビデオ参加

・ モデレータ



水谷由美子（山口県立大学国際文化学部長）

日本海に面した日本一美しい棚田創生には、新たな地域コミュニティの創造と農業の活性化が欠かせません。そのために秋の収穫祭を実施するとともにシンポジウムを通じて、地域ブランディングにも貢献する農業の未来についての課題を地域の人々と共有し、新たな可能性を探りたいと思います。また新しい波「農業の6次産業化」に関する情報を共有します。

企画デザイン研究室 学生スタッフ：齊藤輝 荒木麻耶 / 加藤史織 白井香澄（国際文化学部文化創造学科4年 / 3年）

小田玲子 甲斐少夜子 / 原田章子（大学院国際文化学研究科2年 / 1年）

■ アクセス



山口宇部空港より車で約1時間半

JR厚狭駅より美祢線+山陰本線で約2時間

美祢ICより車で約1時間

JR人丸駅より徒歩10分

【問い合わせ】

東後畑自治会 0837-32-2059 担当：三村

山口県立大学国際文化学部事務室 083-928-3423

担当：水谷 myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp